

## 2024年度 第3回理事会 議事録

日 時：2024年10月26日（土）15：00～18：00

開催方法：現地と Web のハイブリッド開催

**出席（現地）**：大西宏明理事長、吉田博会計理事、森兼啓太総務理事、諏訪部章監事（4名）

**出席（Web）**：柳原克紀副理事長、堀田多恵子、松下一之、松下弘道、増田亜希子、井上克枝、上原剛、  
下澤達雄、山崎正晴 各理事

高橋 聡、志村浩己、中山智祥、伊藤弘康（17時退席）、橋口照人 各支部（14名）

**欠席**：長尾美紀、末廣寛 各支部理事、山田俊幸監事（3名）

### I 開会、理事長挨拶（大西宏明 理事長）

開会に先立ち、2024年3月3日に逝去された功労会員の高柳尹立先生（享年94歳）4月11日に逝去された白石透先生（享年93歳）、6月10日に逝去されました名誉会員の中原一彦先生（享年79歳）を悼み黙祷が捧げられた。

続いて挨拶があり、過半数の理事が出席していることを確認し開催要件を満たしていることが告げられ理事会を開始した。

### 1. 支部報告

各支部報告の2024～2025年度の支部例会・総会の開催報告と予定、支部所属の人事変更等について報告された。

### 2. 各種委員会報告

#### 1) 編集委員会（吉田 博 担当理事、下澤達雄 委員長）

2023年度日本臨床検査医学会誌に掲載された論文を対象に優秀論文賞の審査を行い1名の受賞者候補者を選考したこと、Laboratory Medicine International (LMI) 3巻1号(3月)、2号(6月)、3号(9月)を発刊したこと、LMI専用のWEBページを作成中であること、投稿論文審査について検討したこと、日本臨床検査医学会誌のトピックスの立案を行ったこと、PUBMED掲載の再開について申請したこと、2024年2月6日に第12回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第12回シンポジウム(テーマ:AIと医学雑誌編集)が日本医師会館大講堂で開催され下澤委員長が出席したことが報告された。

#### 2) 標準化委員会（増田亜希子 担当理事）

Lp(a)のハーモナイゼーションおよび標準化作業は検体測定が終了し、現在データ解析中であること、Cペプチド標準化は10月12日に米国ミズーリ大学から提供された検体と合わせて検査体測定予定であること、日本内分泌学会からのIGF-1測定値報告に関する問合わせに日本臨床化学会と協議の上対応したこと、また、TSH、FT4のハーモナイゼーション、基準範囲設定の問合わせに対応したことが報告された。

#### 3) 利益相反委員会（柳原克紀 担当理事、山崎正晴 委員長）

2024年5月7日に、日本医学会第8回研究倫理教育研修会(2024/5/7)へ委員長が参加し、学会の利益相反管理に関する情報収集を行った。第71回学術集会での2024年11月29日(金)に委員会企画「今、求められる利益相反管理とは？」を予定していることが報告された。

#### 4) ガイドライン作成委員会（吉田 博 担当理事）

10月末に臨床検査のガイドラインJSLM2024の表紙デザインを選定予定で、第71回学術集会に向けて発行を目指していることが報告された。

#### 5) 広報委員会（下澤達雄 担当理事）

学会ホームページのトップ画面に、公式Facebook・X・Instagramのバナーを掲載し随時行事を掲載していること、学会からのメール配信時に、署名に公式Facebook・X・Instagramのアカウント情報を掲載していること、

レジデントノートに連載中の「検査のTips!」は100号(2025年7月発刊予定)で終了となること、その後の

可能性を羊土社と相談したこと、10/4(金)～10/6(日)、JACLaS EXPO 2025 で学会のブースの出展対応をしたこと、第 71 回学術集会 (11/29) で広報委員会会議を開催すること、一般演題で広報委員会「専門医の育成とリクルートワーキンググループ」の活動内容を委員長が発表予定であること、ホームページのリニューアルの検討をしていることが報告された。

#### 6) ワークライフバランス委員会 (松下弘道 担当理事)

神奈川県内の臨床検査領域の専攻医受入体制について、今後、指導医が不在となり専攻医を受ける施設がなくなる可能性がある、全国的に、臨床検査医学講座を減らさないためには、当学会として教授の任期や人材育成の状況を把握し、必要な対策を行う仕組みを作る必要があるのではないかと意見があった。協議し、臨床検査医学講座の維持、および専門研修プログラムの確保は、全国的に深刻な問題で、最優先に取り組むべきとなり、有効な措置を行っていくこととなった。

#### 7) 遺伝子検査認定医・専門医に関するアドホック委員会 (松下弘道 担当理事)

人類遺伝学会・遺伝カウンセリング学会・遺伝子診療学会(遺伝医学関連学会)との協議のなかで、臨床検査専門医に遺伝子関連検査の資格を追加で付与することの意義を明確にしてもらいたい、がん遺伝子パネル検査の精度保証を行う人材としては現行の臨床検査専門医がその役割を担う方が合理的であるとの意見を受け議論を続けている。現状としては、できる限り多くの検査専門医に資格を付与すること、試験実施に伴う負担軽減のため検査専門医資格更新の際にコンテンツの受講あるいはその他の手段をもって認定資格を付与する制度を考慮すること、本制度の名称そのものを再検討していることが報告された。

#### 8) 国際委員会 (井上克枝 担当理事)

①2024年9月25日(水)、26日(木)韓国で第18回ASCPaLMが開催され柳原克紀先生が参加したことが報告された。

②2024年10月16日～20日、トルコアンタルヤで第33回WASPALM World Congressが開催され、日本臨床検査医学会シンポジウム:10月18日(金)、タイトル「Novel Perspective and Recent Progress in Laboratory Medicine」として、座長:村上先生が座長となり、松下先生、右田先生、石毛先生、下澤先生が講演したことが報告された。

#### 9) 学術推進化委員会報告 (井上克枝 担当理事)

学術推進プロジェクト研究の研究報告について、プロジェクト終了2年後までに日本臨床検査医学会誌へ投稿することが義務付けられているが、遅れるケースがあり、対応について検討をしていることが報告された。

#### 3. 第71回学術集会報告 (大阪 2024/11/28(木)～12/1(日)、日野雅之 会長) (森兼啓太 総務理事)

2024年11月28日(木)～12月1日(日)に、大阪国際会議場(グランキューブ大阪:大阪)において、日野雅之会長(大阪公立大)のもと開催予定であり、稲葉亨副大会長(京都府立医大)、中前美佳事務局長、運営事務局:(株)サンプルネットメディカルコンベンション事業部が担当する。現時点のプログラムは、シンポジウム14、スポンサードシンポジウム1、委員会企画8、POCセミナー1、Catch up セミナー3、RCPC 2、特別講演2、教育講演8、会長講演、基本セミナー(仮題)、日本医学会連合加盟学会連携フォーラム(日本医真菌学会、日本感染症学会)、ICD 講習会、演題応募状況は、一般演題(口演:150題、ポスター:27題、その他:36題、共催セミナー(ランチオンセミナー14、コーヒープレイクセミナー4)を予定していること、演題募集の際、倫理審査について、後方視的研究(レトロスペクティブスタディ)も施設倫理委員会の審査は不要と取れる表現であったため訂正したこと等が報告された。

なお、学術集会日程表のホームページへの掲載希望の意見があり学術集会事務局に依頼することとなった。

#### 4. 第72回学術集会報告 (千葉 2025/8/28(木)～8/31(日)、大西宏明 会長)

2025年8月28日(木)～31日(日)、千葉県幕張メッセにおいて、大西宏明会長(杏林大)のもと開催予定であり、安戸裕貴副大会長、宮城博幸事務局長、運営事務局は(株)サンプルネットメディカルコンベンションが担当し、現地と一部オンデマンド配信を予定していること、開催時期が8月下旬であるため、演題募集期間は2025年2月13日(木)～3月13日(木)を予定していることが報告された。また、各賞受賞候補者募集、評議員、名誉会員、功労会員候補者推薦時期の繰り上げなど、前倒しの必要があるため協力依頼がなされた。

#### 5. 第73回学術集会報告（千葉 2026/12/17(木)～12/20(日)、吉田博 会長）

2026年12月17日（木）～20日（日）、千葉県幕張メッセにおいて、吉田博会長（慈恵医大）のもと、開催予定であり、越智小枝副大会長、政木隆博事務局長、運営事務局は（株）サンプルネットメディカルコンベンションが担当することが報告された。

#### 6. 本学会からの関連団体派遣委員について（更新）（大西宏明 理事長）

2024年7月13日、第3回理事会以降に推薦した関連学会、団体への派遣委員の報告があった。

#### 7. その他（大西宏明 理事長）

「体外診断用医薬品に係る安全対策のあり方に関する研究」班（研究代表：矢富裕先生）からの体外診断用医薬品の添付文書に関するアンケート調査添付文書への回答の協力依頼がなされた。

### III 審議事項

#### 1. 2024年度中間事業報告について（森兼啓太 総務理事）

2024年度中間の事業報告、各種委員会中間活動報告がなされ、承認された。

#### 2. 2025年度事業計画案について（森兼啓太 総務理事）

2025年度事業計画（案）の説明がなされ、承認された。

#### 3. 2024年度会計中間実績・2025年度予算案について（吉田博 会計理事、大西宏明 理事長）

2024年度中間実績：2024/1/1～2024/6/30までの実際の収入と支出の実績額である。2025年度予算案：収入、支出とも2024年度予算をほぼ踏襲していることが報告され審議のうえ承認された。

#### 4. 学術集会における発表に関する倫理指針について（倫理委員会 柳原克紀 担当理事）

学術集会の演題発表に関する倫理的手続きの指針が倫理委員会から提案され、承認された。

#### 5. 精度管理委員会委員交代について（大西宏明 理事長）

精度管理委員会から木村由美子先生（長崎大）から於保恵先生（佐賀大）へ交代となる報告があり、承認された。なお、在任期間は2024年10月26日～2026年3月30日となる。

#### 6. Subspecialty 検討委員会名称変更・活動内容変更について（大西宏明 理事長、吉田博 担当理事(予定)）

専門医制度に関する大きな課題の1つとしてサブスペシャリティ制度の制定があり、これまでサブスペシャリティ委員会が対応してきたが、昨今、サブスペシャリティ制度に限らず臨床研修制度に関係する多くの課題について日本専門医機構と協議する機会が増えた。これらの課題に対応するためにサブスペシャリティ委員会を発展的に解消し、新たに専門医制度委員会の設置が提案された。原則として自主的に課題を策定して発展させるのではなく、基本的には日本専門医機構とのやり取りで生じた課題を解決するため取り組むことを活動目標とする、担当理事は吉田博理事、委員長は松下弘道先生、副委員長は長尾美紀先生が就任し、今後委員を検討することが提案され承認された。

#### 7. 2025年度臨床検査専門医認定試験実行委員会 委員長について（大西宏明 理事長）

2024・2025年度臨床検査専門医認定試験実行委員長は蔵野信先生だったが、2025年度 臨床検査専門医認定試験実行委員会委員長について、現委員長の蔵野信先生（東京大）から都合により同大学の佐藤雅哉先生へ交代する要望があった。本件について、臨床検査専門医・管理医審議会で審議して、本委員長の資格要件は評議員であること以外は特になくことから、2025年1月1日から評議員として委嘱される予定である佐藤雅哉先生に2025年1月1日付で交代することが承認された。ただし、所属長である蔵野信先生には、副委員長あるいは委員として補佐いただけるよう依頼し、試験会場は今年と同様、東京大学医学部で実施予定であることが報告され、承認された。

## 8. 遺伝子関連検査認定医・専門医について（大西宏明 理事長、遺伝子検査認定医・専門医に関するアドホック委員会 松下弘道担当理事）

遺伝子関連検査認定医・専門医については、遺伝子関連学会からの意見、その他、様々なことを勘案して臨床検査専門医に遺伝子関連検査の資格を追加で付与するという方向に変更すること、2026年の更新時に資格付与を開始する予定となったことが報告され、協議のうえ承認された。詳細については、現在本アドホック委員会で検討中であると報告された。

## 9. 2025年度からの名誉会員・功労会員・社員(評議員)の推薦について（大西宏明 理事長）

功労会員、評議員の推薦について資格要件が確認され、次項の通り功労会員、評議員として社員総会に推薦することが承認された。

- 1) 名誉会員は、メ谷直人先生、下正宗先生、福武勝幸先生、古川泰司先生、矢富裕先生、小柴賢洋先生の6名。
- 2) 功労会員は、北海道支部から紀野修一先生、幸村近先生の2名、東北支部から五十嵐雅彦先生、真里谷靖先生の2名、関東・甲信越支部から木村聡先生、佐藤正一先生、東田修二先生、西堀眞弘先生、古田耕先生、満田年宏先生、盛田俊介先生、矢内充先生の8名、東海・北陸支部から村田哲也先生、渡邊昌俊先生の2名、近畿支部から尾鼻康朗先生、河野誠司先生、日野雅之先生、松永隆先生の4名、中国・四国支部から大澤春彦先生、真治紀之先生の2名、九州支部から末岡栄三朗先生の1名で合計21名。
- 3) 評議員は、北海道支部から生田克哉先生、田中信悟先生の2名、関東・甲信越支部から荒岡秀樹先生、小飼貴彦先生、佐藤雅哉先生、中川央充先生、野上彩子先生、春木宏介先生の6名、東海・北陸支部から白上洋平先生の1名、近畿支部から井戸健太郎先生、岡野隆一先生、狩野春艶先生、中野正祥先生の4名、中国・四国支部から川村良一先生、坂本啓先生、高田康德先生、眞鍋明広先生、茂久田翔先生の5名、九州支部から木村聡先生、國崎祐哉先生、久保田寧先生の3名で合計21名。

## 10. 評議員(社員)再任予定者(2025/01/01付)について（大西宏明 理事長）

2025年1月1日付評議員再任予定者27名が提示された。再任手続きは、2024年12月27日開催予定の評議員審査委員会での審査、審議会後となるが、評議員再任には社員総会の承認が必要のため、本理事会、2024年11月28日の臨時社員総会の承認を得ておきたい。ただし、再任単位を満たさない場合は退任となることを前提に、2025年1月1日付の評議員再任予定者27名について承認された。

## 11. 第74回(2027年)学術集会 会長の推薦について（大西宏明 理事長）

2027年第74回学術集会会長について、東北支部より森兼啓太先生(山形大学)が推薦された。協議の結果、理事会として森兼啓太先生を第74回学術集会の会長として社員総会に推薦することが承認された。

## 12. ファーマコゲノミクス検査の運用指針及びゲノム薬理学を適用する臨床研究と検査に関するガイドラインの廃止について（大西宏明 理事長、松下一之 遺伝子担当理事）

現実に合わなくなってきたことが多いため、廃止の提案があり承認された。もし、薬理遺伝学検査の運用に関する提案に関して検討が必要になれば、当学会として協力していくこととなった。

## 13. 大学改革支援・学位授与機構国立大学教育研究評価委員会専門委員及び機関別認証評価委員会専門委員候補者推薦依頼について（大西宏明 理事長）

大学改革支援・学位授与機構より推薦依頼があった。委員の条件は高等専門学校等において教育研究又は運営等に従事しており、高等専門学校評価に理解と意欲がある教授職の教員であり、①高等専門学校運営等に豊富な経験を有する方、②国際的な教育研究活動実績や大学等の評価活動実績を考慮すること、③特定の高等専門学校、地域に偏らないようこと、④女性候補者の推薦について配慮することとの条件である。該当する方に心当たりがある場合は、自薦、他薦は問わず11月8日までの推薦依頼がなされた。

## 14. 日本臨床細胞学会からの要望について（大西宏明 理事長）

日本臨床細胞学会より、臨床細胞検査士認定証、委員の委嘱状への理事長押印のときに、実際の押印ではなくデータ提供依頼があった。連名での認定証押印であれば、当会も認定に関係していくのが望ましいのではないかととなり、委員派遣を提案したうえで、印影提供する方針ということで日本臨床細胞学会に回答することとなった。

## 15. 2025年度各契約更新について（大西宏明 理事長）

2025 年度、次項の契約更新について検討され、承認された。

- ・顧問（弁護士：古川俊治先生、会計：野澤孝志先生）
- ・日本臨床検査医学会誌編集製作：宇宙堂八木書店
- ・事務委託：宇宙堂八木書店
- ・外部販売：宇宙堂八木書店
- ・広告募集：日本廣業社、学術広告社
- ・ホームページ更新作業など：和田麻沙氏

## 16. その他（吉田博 理事）

### 1) 学術著作権協会からの管理項目に「AI 利用」が追加となること、またその「AI 利用」の可否について

「臨床検査のガイドライン」においては、第 1 章「検査値アプローチ」とりわけ、その第 1 項～第 7 項については AI 利用可能と考える、しかし、その他の項については関連ガイドラインからの引用が多く、その内容との整合性に留意して作成されているので、当学会独自の判断は困難だと思われる。との報告があり、その旨承認された。

感染症関連のガイドラインはガイドライン作成委員会で検討して回答すること、血尿ガイドラインは主体学会の腎臓学会の判断に任せることとなった。

### 2) 保険診療、項目コード、統合システムに基づく臨床検査ありかた委員会からの報告（堀田多恵子 理事）

保険診療、項目コード、統合システムに基づく臨床検査ありかた委員会より、R8 年度診療報酬改定提案に向けて、JLAC センター現況と医療 DX における JLAC11 の必要性について、提言していくことが報告された。

### 3) 今後の会議予定（森兼啓太 総務理事）

次回 2025 年度の理事会、定時社員総会の日程が報告され確認依頼がなされた。

- ・2025 年度第 1 回理事会、定時社員総会：2025 年 3 月 29 日（土）

## IV 閉会の挨拶

柳原克紀 副理事長より閉会の言葉があり本理事会は閉会された。

以上

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し出席理事長、副理事長及び監事がこれに記名押印する

2025 年 2 月 18 日

一般社団法人日本臨床検査医学会 理事会

議長 理事長 大西 宏 明

副理事長 柳原 克 紀

監 事 諏 訪 部 章